熊本市立植木北中学校学校だより　第４号

日　進　月　歩

令和８年５月１１日（月）
校長　坂本正二
「可能性は無限大」
植木北中 HP→

体育大会に向けて

５月１７日（日）に開催される体育大会に向けて、子どもたちは毎日の練習に一生懸命取り組んでいます。全校ダンスをはじめ、各競技、開閉会式、団ごとの応援団演舞など、本番までに準備すべきことはたくさんありますが、子どもたちは終始笑顔で、楽しみながら練習に励んでいます。休み時間にも、長縄の練習に自主的に取り組むクラスが見られ、体育大会に向けた意識の高まりが感じられます。

今年の体育大会のスローガンは
「Let‘s enjoy together.～掴もう笑顔のバトン～」
です。これまでの練習の様子から、スローガンの実現に向けて、着実に歩みを進めていることが伝わってきます。本番を前に体育委員長、副委員長の二人に、これまでの練習の振り返りと本番に向けての意気込みを聞きました。

二人は「最高学年の３年生として、１・２年生のお手本にならなければならないという責任やプレッシャーを感じながら練習に取り組んでいます」「２・３年生は、これまでの経験もあり、順調に仕上がってきていると思います」「１年生も頑張っています。あと一歩のところまで来ているので、先輩としてしっかり支えていきたいです」と、これまでの練習を振り返ってくれました。また、本番に向けては、「３年生は最後の体育大会です。勝ち負けに関係なく、力を出し切り、思い出に残る大会にしたいです」「３年生は１クラスですが、赤団・白団に分かれています。お互いの頑張りがわかる良いライバル関係で、とてもやりがいがあります。最後は最高の笑顔で終わりたいです」と、力強く語ってくれました。

学校行事には、仲間や先生と目標を共有し、その達成に向けて努力する良さがあります。また、自分が頑張れば頑張るほど、周りの人の支えや優しさに気づき、その気持ちが感謝となり、団結や成長へとつながっていきます。体調管理に十分気を付けながら、全校生徒が一丸となり、最高の笑顔溢れる体育大会を作り上げてほしいと思います。

地域の方から学ぶ

５月８日（金）、地域交流推進事業協議会、PTA の皆様のご協力をいただき、１年生が「花いっぱい運動」の種まきを行いました。当日は、地域の方々にご指導いただきながら、なでしこ、マリーゴールド、ガザニアの種をまきました。種まき用のトレーに土を入れ、約1cmの穴をあけて種を入れるという作業を、子どもたちは役割を分担し、声を掛け合いながら、楽しく取り組んでいました。

活動の最後には、学年の代表生徒が、「僕たちのために来てくださり、ありがとうございました。大切に育てて、地域の方に感謝の気持ちを伝えたいと思います。」と、感謝の想いと今後への意気込みを力強く述べてくれました。今後は、みんなで協力して水やりを行い、花苗を育てていきます。育った花は、小学校や保育園、介護施設など、地域の方々に届ける予定です。花を育てる活動を通して、地域とのつながりや思いやりの心を大切にしてほしいと思います。

愛校作業ありがとうございました

５月９日（土）、多数の保護者の皆様のご協力をいただき、愛校作業を無事に実施することができました。グラウンドや学校周辺の除草作業に取り組んでいただき、体育大会に向けた環境整備が整いました。おかげさまで、整った美しい環境のもとで体育大会を開催することができます。当日は、子どもたちも1時間の作業に参加し、友達と声を掛け合いながら、笑顔で意欲的に作業に取り組んでいました。その姿は大変立派で、感心しました。上記の花いっぱい運動も含め、これまで家庭や地域の皆様の温かなご協力により、子どもたちの中に奉仕する心が育ってきていることを、改めて実感しました。８月には2回目の愛校作業を予定しております。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。